

共同利用・共同研究に関わる各種お知らせ

運営会議よりお知らせ

分子科学研究所は広く分子科学分野コミュニティに開かれた運営を行うために、所内11名、所外10名のメンバーからなる運営会議を所長の下に設置しています。法人化前の運営協議委員会と同様に、研究教育職員の人事、共同利用・共同研究等の研究所を運営する上で重要な事項について審議します。人事選考部会と共同研究専門委員会が運営会議の下に置かれています。また、運営会議は自然科学研究機構・機関長選考委員会（所長選考委員会）からの依頼を受けて、所長候補者の選考も行います。所外10名の候補は、関連学会（最近、従来の分子科学会、日本化学会、日本物理学会、錯体化学会、日本放射光学会の5学会に日本生物物理学会が加わりました）から推薦を受けたメンバーが参加する学会等連絡会議において選考されます。所外の方には1期2年の任期で原則2期4年をお願いすることになっており、本年度、以下のとおり半数が交代になりました。分子研レターズにはすでに3名の方からご意見等を頂いております。*印は人事選考部会のメンバー（運営会議の中から所内5名、所外5名）です。人事選考部会で審議決定したことは運営会議で改めて審議する必要がないことになっています。一方、共同研究専門委員会（運営会議メンバー以外も委員となる）で審議したことは運営会議でさらに審議することになっています。運営会議長、人事選考部会長、共同研究専門委員長は、所内教授の小杉（継続）、大森、青野（継続）がそれぞれ務めます。また、所外の神取教授には運営会議副議長をお願いすることになりました。

平成24年度～平成27年度運営会議所外メンバー（新規）*印は人事選考部会のメンバー（以下同様）

- 朝倉 清高 北海道大学触媒化学研究センター教授
- *神取 秀樹 名古屋工業大学大学院工学研究科教授（分子研レターズ64号）
- 河野 裕彦 東北大学大学院理学研究科教授（分子研レターズ64号）
- *寺崎 亨 九州大学大学院理学研究院教授
- *水谷 泰久 大阪大学大学院理学研究科教授（分子研レターズ63号）

以下は今年度より2期目を務められる方々です。

平成22年度～平成25年度運営会議所外メンバー（継続）

- 上村 大輔 神奈川大学理学部教授
- *佃 達哉 東京大学大学院理学系研究科教授（分子研レターズ62号）
- *森 健彦 東京工業大学大学院工学研究科教授
- 山縣 ゆり子 熊本大学大学院生命科学研究部教授
- 山内 薫 東京大学大学院理学系研究科教授

なお、以下は退任された運営会議所外メンバーの方々です。全員から分子研レターズにご意見等を頂いております。これまでの多大なご支援、ご協力をありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

平成20年度～平成23年度運営会議所外メンバー（退任）

- *江幡 孝之 広島大学大学院理学研究科教授（分子研レターズ66号）（本号）
- 篠原 久典 名古屋大学大学院理学研究科教授（分子研レターズ65号）
- *富宅喜代一 神戸大学名誉教授（分子研レターズ62号）
- *山下 正廣 東北大学大学院理学研究科教授（分子研レターズ60号）
- 渡辺 芳人 名古屋大学理事・副総長（分子研レターズ61号）

共同研究専門委員会よりお知らせ

共同研究専門委員会では、分子科学研究所が公募している課題研究、協力研究、分子研研究会、および若手研究会の申請課題の審査を行っています。平成24年度からは、岡崎コンファレンスについても他の共同利用研究と同時に公募を行い、共同研究専門委員会において審査を行うことになりました。また、協力研究については、これまでは研究期間を半年として（前期、後期に分けて）申請を受付けていましたが、平成24年度からは、これらに加えて研究期間を1年間とする通年申請の枠を新たに設けました。それぞれの公募の詳細については分子研ホームページ（<http://www.ims.ac.jp/use/>）を参照いただきたいと思います。共同研究の現状について、平成18年度から今年度前期（7月10日現在）までの申請数の推移をまとめたものを下記に示しました。ここ数年は、ほぼ定常的な件数で推移しています。

現在、分子科学研究所では、共同利用研究の全面的な電子申請化の準備を進めています。UVSOR、電子計算機施設、機器センター施設利用等を含む、分子研が提供するすべての共同利用研究の申請が、すべてWeb画面上で行えるようなシステムの構築が進められています。申請用システムはほぼ完成し、所内でテストを行い、問題点がないかどうかチェックを行っている状況です。来年度の共同利用研究申請からは、従来の紙ベースでの申請に換わり、Webシステムを利用した電子申請へと全面的に移行する予定です。

分子科学研究所では通常の共同利用研究とは別枠で、東日本大震災により被災し、研究活動に支障を生じている研究者の支援プロジェクト（岡崎3機関「共同利用研究特別プロジェクト」<http://www.ims.ac.jp/whatsnew/2010/110317.html>）を平成23年3月17日に立ち上げ、これまでに合計13件の支援を実施してきました。本支援プロジェクトは、現在も引き続き実施しています。研究支援の内容については、可能な限り柔軟に対応していますので、要望等がある場合には所内対応者、あるいは共同研究専門委員会委員長にご相談下さい。

共同利用研究の実施状況（件数）について

種 別	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度 (7月10日現在)
課題研究	1	2	2	1	0	1	1
協力研究	84	91	90	119	122	108	49
分子研研究会	13	9	4	5	6	4	1
若手研究会等	—	—	1	1	1	1	1
岡崎コンファレンス	—	—	—	—	—	—	1
施設利用I	47	58	72	60	65	94	47
電子計算機利用(施設利用II)	142	144	147	171	170	179	165
UVSOR研究会	3	2	2	2	1	2	2
UVSOR施設利用	113	146	156	147	140	136	56
計	403	452	474	506	505	525	323

施設利用Iについては機器センターと装置開発室の合計件数である。

分子研研究会の実施状況について

開催日時	研究会名	提案代表者	参加人数
平成24年3月13日	innovationを目指す若手錯体化学者シンポジウム	水田 勉（広島大学大学院理学研究科）	33名
平成24年3月15日～16日	次世代分子科学に向けた複合研究討論会	松本 剛昭（兵庫県立大学大学院物質理学研究科）	29名